

『神経筋疾患患者における呼吸ケアサポートチーム 介入の効果に関する研究』 お知らせ

1. 実施目的について

当院では、重い障がいを持ちながら長期療養される患者さまが多く、そのうちのほとんどの方に嚥下障がいや換気障がいがあります。このためのどや気管・気管支にたまった痰や唾液がうまく出せなくて、ときには外科的処置が必要となったり、命にかかわったりすることもあります。

このような呼吸の問題を解決するために、当院では呼吸ケアサポートチーム(RST)を編成して組織的な対応に取り組んできました。

今回、過去に当院入院中に RST が関わった患者さまの診療録(カルテ)を調べることで、より効果的な RST の関わり方を明らかにしたいと考えています。

2. 実施内容について

方法は、2006 年から 2015 年末までに当院に入院された患者さまのうち、RST が関わった方のカルテを調べ、その方のもともとの病気(基礎疾患)、年齢、性別、呼吸状態とその変化、栄養摂取方法、症状、RST の関わった目的と関わり方、胸部画像所見、血液検査所見、行われた治療とその後の経過、などについてまとめ、その傾向を分析検討します。

カルテを実際に調べる作業を行う期間は、これより平成2017年3月末までです。

3. 研究代表者

駒井 清暢(医王病院 診療部・神経内科 院長)

4. 調査対象期間

2006 年1月1日から 2015 年 12 月 31 日までを調査対象期間とします。

5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上でデータファイルが作成、保存、分析されます。この研究により個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして学術的な場でのみ公表します。

6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように個人情報やプライバシーを保護した状態であっても、調査対象となることを拒否される場合、また、この研究についてご質問がある場合には下記までお問い合わせください。